


成 績 書

依頼者	住所	浜松市浜北区於呂1930-1							
	氏名 (名称及び 代表者氏名)	株式会社森修焼							
依頼事項		食品衛生法に基づく溶出試験 (鉛溶出量、カドミウム溶出量)							
試料	品名	プレート	数量	1種					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>鉛溶出量 (規格値)</th> <th>カドミウム溶出量 (規格値)</th> <th>製品の区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><0.2 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (8 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$)</td> <td><0.02 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (0.7 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$)</td> <td>深さ2.5cm未満 陶磁器製の器具</td> </tr> </tbody> </table>				鉛溶出量 (規格値)	カドミウム溶出量 (規格値)	製品の区分	<0.2 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (8 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$)	<0.02 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (0.7 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$)
鉛溶出量 (規格値)	カドミウム溶出量 (規格値)	製品の区分							
<0.2 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (8 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$)	<0.02 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$ (0.7 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$)	深さ2.5cm未満 陶磁器製の器具							
成績 (結果)	ただし、試験方法は食品衛生法「食品、添加物等の規格基準」(昭和34年厚生省告示第370号)第3のDの1による。 以下余白								
	受付施設	産業技術センター瀬戸窯業試験場							
<p>試料の成績(結果)は、上記のとおりです。</p> <p>平成 30年 6月 26日</p> <p>あいち産業科学技術総合センター所長 加藤淳二</p> 									

(注) 試料品名は依頼者の申し出のとおり記載しています。